

事務事業マネジメントシート(平成27年度実績と平成28年度計画)

平成28年11月24日更新

事務事業名	家庭児童相談等事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名 中村 公彦
	施策	19	子どもを見守り、育てる地域づくり		所属課	子育て支援課	担当者名 榮 峰男
	施策の柱	59	相談支援体制の充実		所属班	子ども保育班	(内線) 2313
予算科目	会計一般	款 3	項 2	目 1	事業連番 10603	根拠法令 児童福祉法	児童福祉法合志市家庭児童相談員規程
終了、開始年度	<input checked="" type="checkbox"/> 27年度で終了 <input type="checkbox"/> 27年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	
						成果優先度評価結果	;
						コスト削減優先度評価結果	;

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	平成18年2月合併による市制施行により、福祉事務所において児童家庭相談・児童虐待等相談・助言指導を行うため、家庭児童相談員を1名を任用し、随時、電話相談、来所相談を受ける。また、相談員の資質向上とネットワーク作りのため、家庭児童相談員協議会への参画を始めた。児童福祉法の改正により、平成17年度から市が児童相談の第一義的窓口と位置づけられたため、児童相談体制の強化が求められている。
【業務の流れ】	担当課(子育て支援課)内に在席し業務にあたる。必要に応じ、家庭訪問、学校訪問等を行ない関係機関と連携して援助、助言活動を行なう。
【主な予算費目】	報酬・需用費・負担金・備品 (H25年度虐待防止緊急強化機能費として100%の補助金があり、これを利用して相談員用デスク、椅子等を購入)
【意見や要望】	相談窓口について広く周知していくべき。(平成23・24年度の緊急強化機能費を利用し、窓口の紹介するクライシスカードを作成した。平成25年11月児童虐待防止キャンペーンとして市内2箇所で開催した。)

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 27年度実績(27年度に行った主な活動) (DO)	電話相談・来所相談・訪問相談に対し、関係機関と連携して相談業務にあたっている。また、支援家庭への定期的な家庭訪問を行っている。相談業務のスキルアップのために研修会に参加した。	28年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
		前年度と同様。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ ア: 相談件数		女性・子ども支援センター事業へ統合することによる減
イ: 相談窓口開設(対応)時間数	時間	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
0~18歳までの児童		(単位) 人
		→ ア: 18歳未満の人口
		イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
家庭における適正な児童養育その他家庭児童福祉が向上する。児童のいる家庭が子育ての不安を解消できる。		(単位) 件
		→ ア: 解決できた相談件数
		イ:
*③成果指標設定の理由と28年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
相談を通してその世帯の支援を行ない問題を解決する。年々相談件数が増加しているため、相談件数の増を見込んだ。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	25年度実績(決算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	27年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	予定	見込	見込
① 活動指標	ア 件		47	0	90	0				
	イ 時間		1,440	0	1,440	0				
② 対象指標	ア 人		12,138	0	15,490	0				
	イ									
③ 成果指標	ア 件		18	0	80	0				
	イ									
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円	288						
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	2,392	2,016					
		(A) 事業費計	千円	2,680	2,016	0	0			
		(A)のうち指定経費	千円	1,722	1,726	0	0			
		(A)のうち時間外、特勤	千円	90	92	0	0			
		正規職員従事人数	人	4	3	5	0			
延べ業務時間	時間	790	390	800	0					
(B) 人件費計	千円	3,147	1,553	3,187	0					
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,827	3,569	3,187	0					

事務事業名	家庭児童相談等事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は27年度の事後評価、ただし複数年度事業は27年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①27年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 相談に対応し解決ができた。また、平成21年7月に専用の相談室を設け、相談者のプライバシーに配慮できるようになった。
	②28年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 専用の相談室も設け、相談に対応し解決ができる見込み。
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 相談窓口の周知
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 児童福祉法等により実施している。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 非常勤職員1名で担当していて、相談件数も年々増加しているため、これ以上の削減余地はない。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 一般職非常勤職員1名で担当している。業務時間を削減することはできないが、相談日を設定することで効率をあげることができる。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 児童相談窓口では、すべての相談を受け付けており公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 相談業務は専門性やプライバシーの保護があるため、住民や地域・団体に移行できない。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

平成21年7月より専用の相談室を設け、相談者のプライバシーに配慮する事が出来た。今後も相談窓口の周知や相談体の充実を図り、問題解決に向け努力したい。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																						